

浮魚情報（第7報）

令和5年9月20日
宮城県水産技術総合センター環境資源チーム
Tel : 0225-24-0139 Fax : 0225-97-3444

カタクチシラス分布調査結果

○調査方法

- ・9月14日に県漁業調査指導船「開洋」にて、県仙南海域の共同漁業権内においてシラス分布調査を行いました。
- ・調査方法は、魚群探知機によりシラスやイワシ類と思われる反応を調べ、魚種確認のため、中層トロール網（10分曳き）による捕獲調査と漁場環境調査を行いました。

○魚群探知機航走調査結果

- ・St.1～St.2の山元沖の低層付近では、高頻度でやや濃い目の反応が見られました（図1）。

○中層トロール網による魚種の確認結果

- ・図1に示す山元沖T1及びT2、名取沖T3において中層トロール網（10分曳き）を行った結果、T1では228尾、T2では620尾、T3では172尾採取されました（表1）。漁獲物の体長はT1で8～21mm（平均13mm）、T2で11～26mm（平均19mm）、T3で8～26mm（平均17mm）でした（図3）。また、T1とT3では20mm以下の小さいサイズ主体で、T2は20mm前後のやや小さなサイズのサイズが主体でした（図2）。カタクチシラスのCPUE（尾/網）はT1とT2で昨年を上回っていましたが、T3では昨年を大きく下回りました（図3）。

○漁場環境等

- ・調査海域の表層水温は26.4～27.6℃、底層付近は22.9～26.0℃となっていました（表2）。
- ・調査漁場の底層付近はSt.1で水産用水基準（6mg/L）を下回り、低酸素状態となっていました。

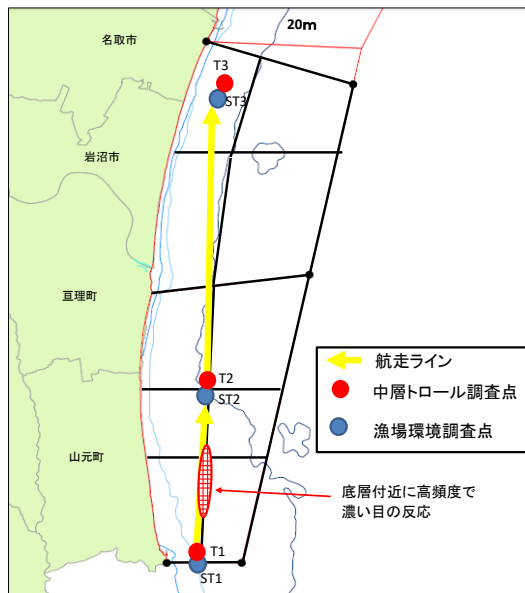


図1 航走ラインと中層トロール調査点

表1 各調査点の漁獲尾数

中層トロール調査点	カタクチシラス尾数	マシラス尾数	備考
T1	228	0	20mm以下の小さいサイズが主体
T2	620	0	20mm前後のサイズが主体
T3	172	0	20mm以下の小さいサイズが主体

表2 調査漁場の環境調査結果

St	時間 水深(m)	測定層 (m)	水温 (℃)	塩分	pH	DO (mg/L)
St.1	9:10	0	26.4	32.8	8.3	7.7
		5	26.2	33.5	8.3	7.6
		B-1	25.0	33.7	8.1	5.2
St.2	10:03	0	26.7	30.3	8.3	8.3
		5	26.3	33.2	8.3	7.2
		10	25.4	33.6	8.2	7.1
		15	24.6	33.6	8.2	7.1
		20	23.2	33.8	8.2	6.5
		B-1	22.9	33.8	8.2	6.2
St.3	10:51	0	27.6	30.6	8.4	8.8
		5	26.7	32.2	8.3	8.3
		10	26.4	32.9	8.3	7.3
		B-1	26.0	22.3	8.2	6.9

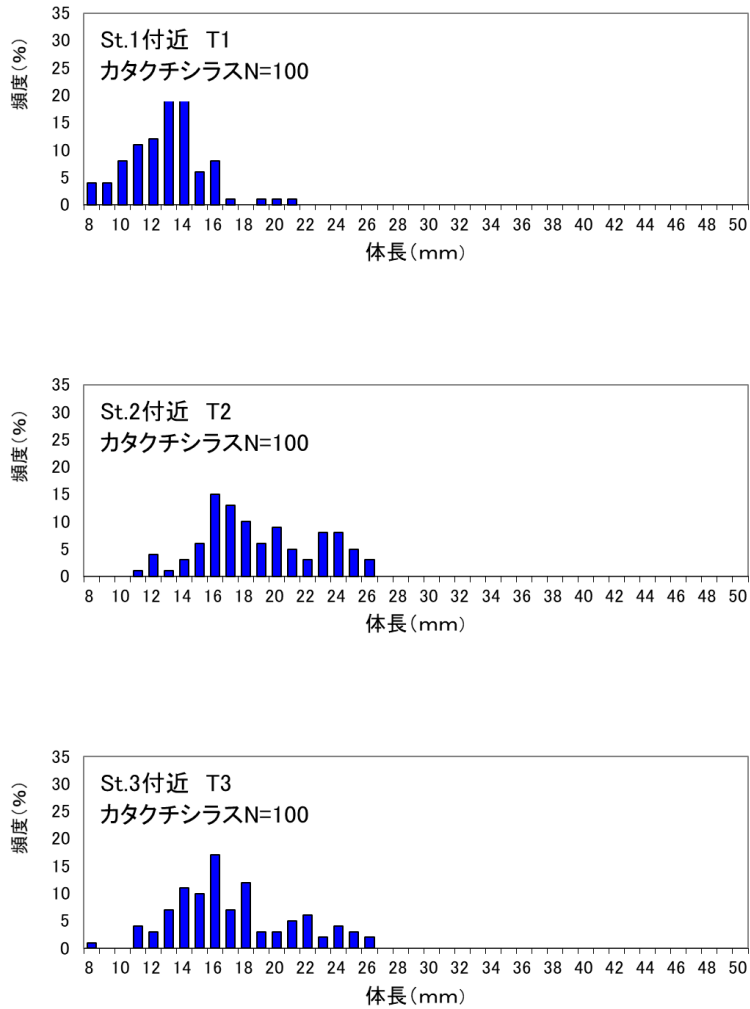


図2 中層トロールで採捕されたカタクチイワシ仔魚及び幼魚の体長組成

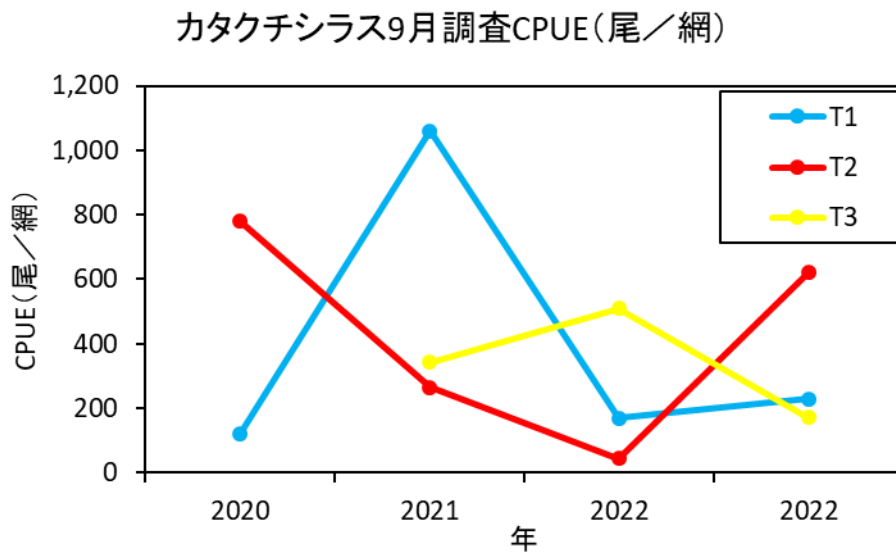
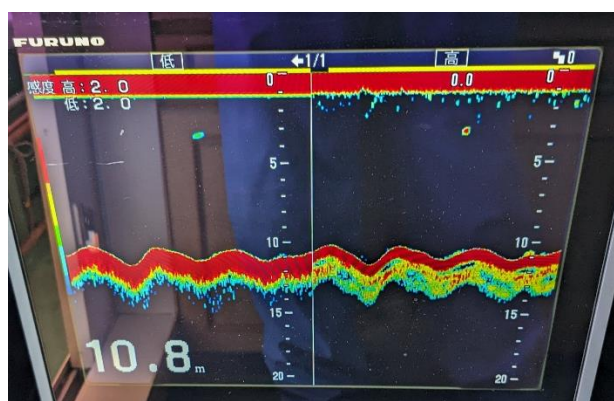
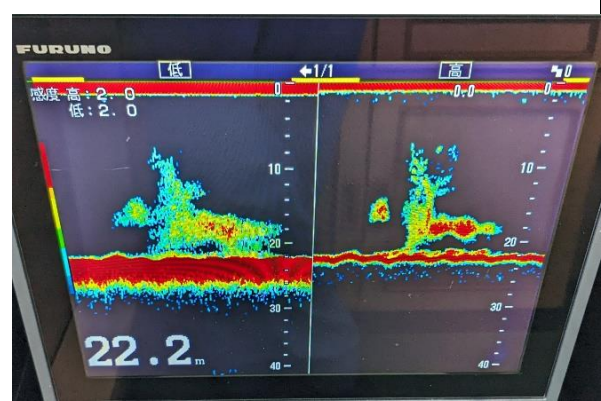


図3 中層トロール (10分曳網) で採捕されたカタクチシラスの CPUE (尾・網) の変化。

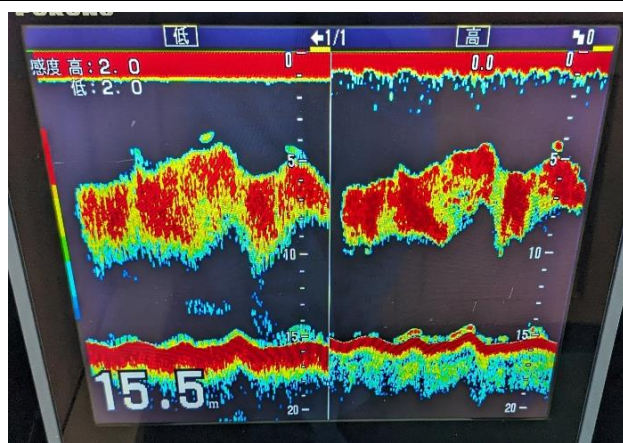
図4 魚探及び漁獲物写真



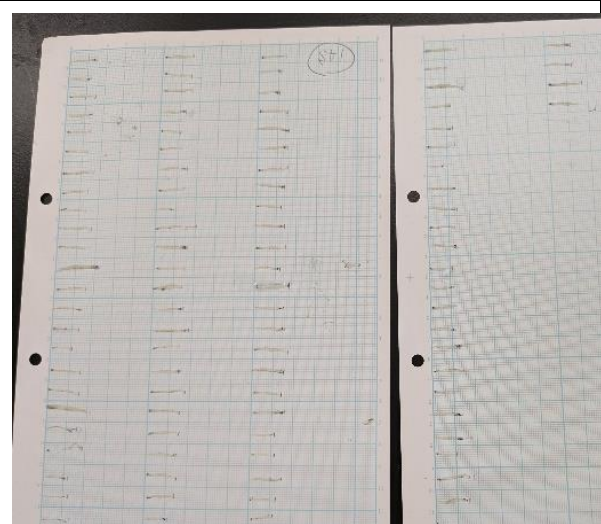
T1 魚探反応 (右側の高周波参照)
 表層付近にポツポツと
 カタクチシラスと思われる反応あり。



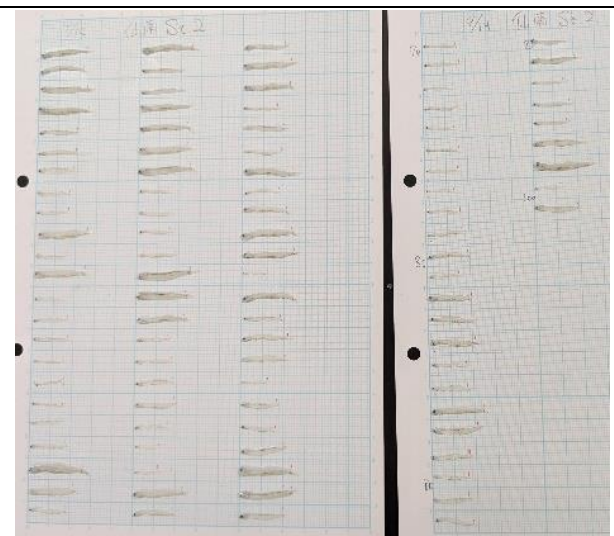
T2 魚探反応 (右側の高周波参照)
 水深 10m~20m 付近に
 カタクチシラスと思われる反応あり。



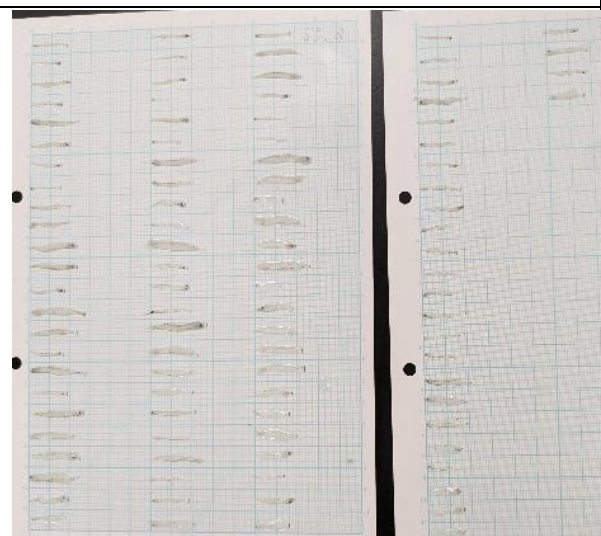
T3 魚探反応 (右側の高周波参照)
 水深 5m~10m 付近に
 カタクチシラスと思われる反応あり。



T1 の漁獲物の測定写真
 20 mm以下の小さいサイズが主体



T2 の漁獲物写真
 20 mm前後のサイズが主体



T3 の漁獲物測定写真
 20 mm以下の小さいサイズが主体